

関節リウマチは 早期治療が大切

関節リウマチは、関節に炎症が起こり、はれや痛みが生じる病気です。免疫の異常により免疫が自らの組織を攻撃してしまう自己免疫疾患の一つです。患者は女性に多く、30～50歳代で発病することが多いといわれています。

どのような症状？

朝、関節を動かし始める時のこわばり、関節のはれや痛みなどが主な症状です。症状は天候に左右されることが多く、天気が崩れる前や雨の日、寒い日は痛みが強くなります。梅雨の時期は症状が悪化しやすく、6月は「リウマチ月間」となっています。病気が進行すると、関節の骨や軟骨が破壊されて関節の変形が起こり、関節を動かせる範囲が狭くなります。全身の関節に炎症が起こる可能性があります。中でも起こりやすい関節は手の指・手首・ひじ・膝・足首・足の指などです。その他に疲れやすい、脱力感、食欲不振、発熱などがあります。

どのような治療法がある？

リウマチの原因を取り除くことはできません。病気の症状や進み具合により薬物療法、手術療法、リハビリテーションなどの治療法があり、①症状の緩和 ②関節の変形の予防 ③破壊された関節の働きを再建する ④身体機能の維持 ⑤QOL（生活機能）の維持 ⑥寛解を導く（寛解とは全身の関節の痛みやはれがほぼ消失し、炎症反応も下がり自覚症状も改善した状態）を目標とします。

従来、関節リウマチは治りにくい病気とされていましたが、近年は新しい薬が普及し、早期に適切な治療を受けることで「寛解」も可能となりました。関節が痛くてはれている場合は早めにリウマチ専門医を受診し、すぐに効果的な治療を開始し、関節の破壊を防ぐことが大切です。

<参照：(公財) 日本リウマチ財団 リウマチ情報センター資料>

お知らせ

◎病気についての医療相談を「難病生きがいサポートセンター」で受け付けています。

◆☎・FAX 058-252-3567 ☒ gifunanbyo.kng@gifu.email.ne.jp

1 生きがいサポートセンターの相談員による相談 月～金曜日 午前10時～午後4時

2 医師による相談（要予約） 予約は月～金曜日 午前10時～午後4時

難病などに関する専門の医師による電話相談日を設定し、月1回、年間10日以上実施しています。相談日には担当医が直接相談に応じます。この相談には予約が必要です。次回のリウマチの相談は、平成25年1月24日（木）加藤賢一さん（藤田保健衛生大学病院医師）が直接電話でご相談に応じます。

◎仲間を作って、一人で悩まないようにしましょう。

1 (社) 日本リウマチ友の会 岐阜県支部 大垣市墨俣町二ツ木町 73-2 ☎ 0584-62-5238

2 リウマチさんのおしゃべりの部屋

予約不要

場 所 中濃厚生病院・2階会議室

参加費 飲物代 350円

毎月最終水曜日 午後1時～3時